

三滝だより

NO. 271

2024年5月15日発行



ごかんつか 五感を使って みたきもり 三滝の森たんけん



ぼく、ミタッキーだよ。三滝少年自然の家には、い

ろいろな自然がいっぱい。自然の中の色やにおい、鳴き

声、森の中を吹く風も、春・夏・秋・冬の季節ごとにど

んどん変わっていくよ。今回は、ぼくといっしょに5月の

三滝の森をたんけんしてみよう。たんけんするときには、見たり、さわったり、

耳をすませたり、それから、食べて味わうことはできないけれど、においをか

いだりと、いろいろな感覚（五感）を使い、確かめてみよう。子どものころ

に、いろいろな感覚を使うことは、脳を発達させ、ものを考えたり、感じたり

する力を大きく伸ばすことができるんだよ。



(1) 咲いている花を見てみよう。

コックバネウツギは、観察広場の近くに生え

ていて、白い花を咲かせるよ。その実がお正月

にする羽根つきの羽根（衝羽根）に似ているの

でこの名前が付いたそうだよ。



コックバネウツギ

(2) 木の皮をさわってみよう。

幹の表面（樹皮というよ）は、ガサガサだっ

たり、ツルツルだったり、木によって違うんだ

よ。木の皮がはげているリョウブは、冷たく感じ

るよ。反対に、ネジキやオオバヤシャブシなど温かく感じる木もあるんだよ。



リョウブ

(3) 葉っぱのにおいをかいでみよう。

クスノキは、葉をさわるとつるつるして気持ちがい

いよ。その葉を少しちぎってにおいをかいでみると、

スーッと気持ちのよい香りがするよ。でも、虫は

このにおいがきらいなんだって。それは、タンズに入れ

る防虫剤にも使われているからね。



クスノキ



草もちのにおいそうな香り ヨモギ

(4) 鳥の鳴き声を聞いてみよう。

三滝の森には、ぼくの仲間のメジロをはじめ、多く

の鳥がいて、いろいろな鳴き声が聞こえてくるよ。

ウグイス、ヤマガラは年中見ることができるけど、夏になる



ヤマガラ



メジロ

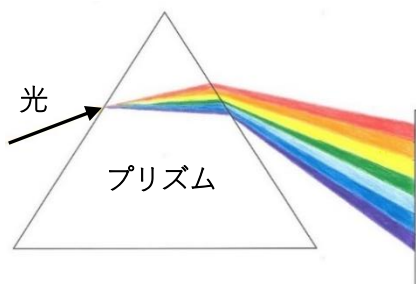
とキビタキやオオルリなどもやってきてるよ。森の中で、

耳をすませると、さわやかな風が葉っぱをゆらす音や、鳥

の鳴き声も聞こえてくるよ。

にじ虹について

太陽光や電球の光を、プリズムという光の屈折（折れ曲がること）などを起こさせるのに使うガラスなどでできたものに通すと、いろいろな色に分かれます。光の波長（波の長さ）のちがいで折れ曲がる角度が変わり、むらさきは大きく曲がりやすく、赤はほかの色よりもまっすぐ進みます。



空気中の水てきはプリズムと同じはたらきをするので、太陽光が水てきの中を通ると、色が分かれて虹がでることがあります。

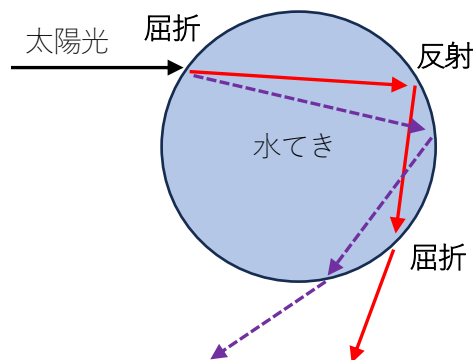
太陽光は水てきに入るときに1回屈折し、そのあと水てきの中で反射（物に当たってはねかえること）して、

空気中に出るときに再び屈折することで色が分かれます。

今年の3月に三滝少年自然の家から、2重の虹を見ることができました。

はっきりと見える内側の虹が「主虹」と呼ばれ、うっすらと見える外側の虹が

「副虹」と呼ばれます。光が強いときに見ることができます。

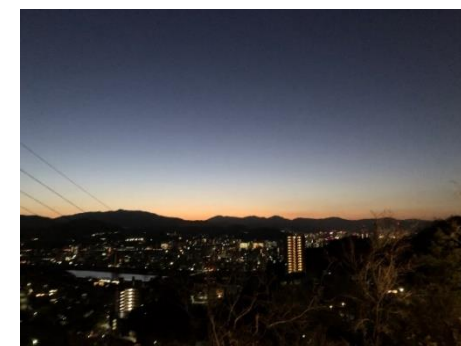
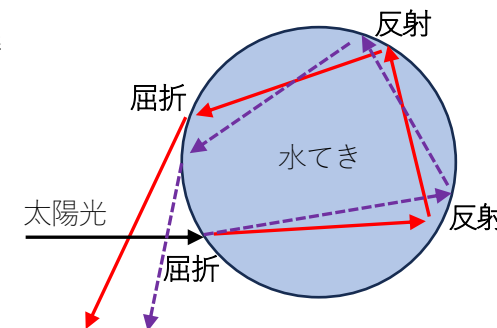


主虹は光が水てきの上から入って下から出ていきますが、副虹は光が下から入って水てきの中で2回反射して上から出ていきます。副虹は主虹とは色の順番が反対になり、光が弱くなっています。見ると幸せになれると言われている珍しい現象です。

光について言えば、昼間の空が青く見えるのは、波長の短い青い光だけが大气中で散らばるからです。そして、朝焼けや夕焼けが赤く見えるのは、青い光は散らばって、波長の長い赤色が遠くまで届くからです。とてもきれいですよね。



加工して虹を見やすくした写真



三滝少年自然の家から望む朝焼けのグラデーション

公益財団法人広島市文化財団
広島市三滝少年自然の家・広島市グリーンスポーツセンター
〒733-0802 広島市西区三滝本町一丁目73番地の20
TEL082-238-6301 FAX082-238-6302
<http://www.cf.city.hiroshima.jp/mitaki-c/>